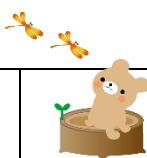


学校便り



学校教育目標

知徳体の調和のとれた品性ある子の育成
—チャレンジいっぱい 笑顔いっぱいの学校—

すすんで考えを伝え合う子

思いやりを形で表す子

粘り強く取り組む子

前期学校評価の結果のお知らせ

まだまだ暑い日が続いています。保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月に実施しました「保護者アンケート」「教員アンケート」「児童アンケート」の結果を報告させていただきます。

1 保護者アンケート

	お子さんの様子	前期 (%)	R4 後期 (%)
1	お子さんは、学校は楽しいと思っている。	97	98
2	学校は、お子さんのことについて相談に応じてくれる。	98	98
3	お子さんは、授業はわかりやすいと思っている。	88	94
4	お子さんは、10分×学年の家庭学習をしている。	76	79
5	お子さんは自分からあいさつをしている。	89	87
6	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	92	95
7	お子さんは進んで体をよく動かしている。	88	87
8	お子さんの話や学校からのおたより等で、学校の様子がわかる。	90	88

2 教員アンケート

	評価観点	前期 (%)	R4 後期 (%)
1	児童は学校で楽しく過ごしている。	100	100
2	児童の様子を把握し、家庭への連絡や相談等、適切な対応を心がけている。	100	100
3	仕事に優先順位をつけ、効率よい働き方になるよう工夫している。	73	88
4	ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている。	100	94
5	根拠・理由を引き出す授業づくりをしている。	100	94
6	児童は根拠・理由をつけて発表している。	78	75
7	家庭学習の習慣化を進めるため、宿題の内容を指導・工夫している。	100	87
8	あいさつ等、児童の自発的な活動を促すような場の設定や指導を工夫している。	100	92
9	児童は、自分から挨拶をしている。	80	65
10	児童が最後まで話を聞くように働きかけをしていますか。	100	100
11	児童は先生や友達の話最後まで聞いている。	62	65
12	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	100	100
13	体育の時間やその他の時間で、目標を持って進んで運動に取り組めるよう働きかけている。	100	100
14	児童主体の特別活動になるよう、話し合い活動を充実させるよう指導している。	93	94
15	係や委員会の活動に責任を持って取り組めるよう働きかけている。	100	100
16	おたよりやHP等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。	87	94

3 児童アンケート

	自分の様子	前期 (%)	R4 後期 (%)
1	学校は、楽しいですか。	99	98
2	困ったことがあったら先生に相談できますか。	92	87
3	授業は、わかりやすいですか。	93	94
4	自分の考えを根拠・理由をつけて書いたり話したりしていますか。	84	79
5	10分×学年の家庭学習をしていますか。	91	85
6	自分からあいさつしていますか。	97	97
7	先生や友達の話最後まで聞いていますか。	96	95
8	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしていますか。	86	92
9	目標を持って進んで運動をしていますか。	91	90
10	学校や学級をよくするために積極的に話し合に参加している。	91	91
11	係や委員会の活動を忘れずしっかり取り組みましたか。	93	91
12	お家の人と学校の話をしていますか。	89	85

4 分析と改善策

(1) あいさつ (思いやりを形で表す子)



「丁寧な言葉で挨拶できる児童」をキーワードに、朝のあいさつ、授業のあいさつ、来校者へのあいさつ、帰りのあいさつなどを大切にしながら指導しています。児童は先生や来校者に自分からあいさつできている(97%)とされているようですが、保護者の皆様は(89%)、教職員は(80%)であり、昨年度後期と同様に子どもと大人ではやや隔たりがあります。挨拶の基本、「あいさつの必要性」や「マナー」について今後も継続して指導します。同時に挨拶がしっかりできている児童を認め褒めることで自分はできているという意識付をさらに図っていきます。2学期は、「自分から」をキーワードに、心の通い合う挨拶ができるようご家庭でもお声かけをお願い致します。

(2) 伝え合う (すすんで考えを伝え合う子)



「根拠・理由を引き出し相手を意識して伝え合う授業づくりをしている(教員)」は昨年度項目「根拠・理由を引き出す授業づくりをしている」から評価を上げ100%、「相手に伝わるように根拠・理由をつけて書いたり話したりしている(児童)」は79%から84%と評価を上げました。教師と児童の評価には差がありますが、昨年度に引き続き教師は根拠や理由を引き出す授業づくりを継続し粘り強く取り組んできたことで児童・教師とも成果が表れてきています。この結果を受け、児童自身が「伝え合うことができている」と自覚できるよう、具体例を挙げて伝え合いの姿(例えば話し手は「〇〇ですよ」「～ですが、ここまでいいですか」など反応を求める言い方の継続と、聞き手は話し手に対して「〇〇がわかりました」「～のところがよくわからなかったのもう一度お願いします」「～について質問します」など聞いたことに正対して反応を返す)を共有し、日々の授業場面で認め褒めていきます。

(3) 家庭学習



「10分×学年の家庭学習をしている」につきましては保護者は76%、児童は91%、「家庭学習の習慣化を進めるため、宿題の内容を工夫している(教師)」につきましては100%で児童・教師共に評価は上がっています。毎学期、設けている家庭学習強化週間の取組は今後も継続し、取組後には内容の見直しと児童の実態に合った課題の工夫に心がけます。ご家庭ではお子さんの宿題への取組の様子に関心を持って頂き、褒めたり励ましたりの声かけ、また必要に応じて、一緒に取り組んで頂きますと、お子さんにとって喜びとなり意欲向上のきっかけとなります。家庭と学校と連携して自分で学習する習慣づけを今のうちから大切に育んでいきたいと思えます。

(4) 笑顔いっぱいの特別活動(粘り強く取り組む子)



係活動等につきましては、児童・教師共に90%を越える結果となりました。それを支える「学校や学級をよくするための話し合い」に関しても児童は昨年同様90%を越えています。ICT機器の活用も視野に入れ、児童自身が学校生活をより良く楽しむ発信源となるよう、係活動や委員会独自の活動について教師の積極的な働きかけを行ないます。また、相手に伝わる話し合い活動になるよう授業の中での「伝え合い」と連携して取り組みます。

※児童の「学校は楽しいですか」、保護者の「学校は、お子さんのことについて相談にに応じてくれる」の割合が昨年度より伸び嬉しく思います。しかし、否定的評価にチェックが入った項目については、2学期始めより必要に応じて働きかけを行っていきます。今後ともこの結果に満足せず100%を目指し工夫、改善していきます。ご心配やご相談などありましたら、いつでも学校へご連絡下さい。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

5 学校運営協議会(令和5年8月31日(木))より

- ・理解度が様々な児童に対応できるようタブレット端末等の活用と共に協働的な学びを意識しつつ個別最適化の授業を目指します。
- ・いじめの対応についてはアンケートを基に日頃から児童の気持ちを十分に出すことのできる体制作りをさらに進めます。